家庭科学習指導案

1. 日時：平成〇〇年〇月〇日 〇曜日 〇校時（〇〇：〇〇～〇〇：〇〇）
2. 場所：〇〇中学校 〇〇室
3. 学級：〇〇中学校 〇年〇組 〇名（男子〇名 女子〇名）
4. 題材名：日本の伝統染色工芸を学ぶ ―藍染めをとおして―
5. 題材設定の理由

題材観：

日本の伝統染織工芸である藍染めを扱う。藍は天然染料の代表的なものの一つで、昔は、生活用繊維製品の多くは藍で染められていた。伝統文化を学び、衣生活についての関心を深めた上で、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを伝えたい。ものを製作することで、ものを大切にすることの心や成熟感などをはぐくませたい。

生徒観：

（省略）

指導観：

生徒自らが課題を見つけて計画、実践、評価、改善できる、問題解決的な学習を勧めるようにする。また、制作に必要な材料、用具、製作手順、時間などの見通しをもち、目的に応じた縫い方や染色方法などについて工夫し実践できるようにする。

また、染色実習の際には C（1）とも関連付け、着用されなかった衣服を再利用するなど、廃棄物についても着目し、環境との関連した指導が行うよう配慮する。

6. 題材の目標

- ・ 布を用いた物の制作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。
- ・ 衣生活に関心をもち、家庭生活に生かすことができる。
- ・ 身近な環境に配慮した水や洗剤の適切な使い方やゴミの廃棄などの循環型社会について考えることができる。

7. 指導要領との関連性

C（1）、（3）ア、イ

D（2）

8. 指導計画（全 12 時間）

- (1) 日本の伝統染織工芸…………… 1 時間
- (2) 伝統の藍染めと現代の藍染め…………… 2 時間
- (3) 布・繊維の特徴を知る…………… 2 時間
- (4) 染色・作品の計画…………… 2 時間
- (5) 染色体験…………… 3 時間
 - 布を絞る…………… 1 時間
 - 染色…………… 2 時間（本時）
- (6) 染色布でオリジナル作品作り…………… 3 時間
- (7) 生活への応用…………… 1 時間

5. 本時の目標

- ・染色方法を理解し、仲間と協力して積極的に作業することができる。
- ・自分の思いを染めに表現することができる。

6. 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに着席する。 ・本時の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藍で染色を行うことを伝える。 ・染色の流れを確認させる。 ・作業の注意点を述べる。 	
展開 75分	<ul style="list-style-type: none"> ・班の代表者が材料を取りに行く。 ・エプロン・ゴム手袋を着用する。 ・班で協力して染色を行う。 自らが計画したものをもとに、作業をすすめる。 ・作業中に気付いたことは、班のメンバーと協力しながら、ワークシートに記入する。 ・材料や器具を片付ける。 ・染色布を干す。 ・染色の結果、気付いたことをまとめる。 ・他の人とも交流し、気付いたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに、廃棄物用の袋を渡す。 ・机間指導を行う。 ・色の変化や匂いを観察させる。 ・綺麗な色が出るように、それぞれ工夫するよう促す。 ・繊維によって、染まり方が違うことに気付く。 ・廃棄物にも着目させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・染色方法が理解できているか。(知) ・仲間と協力して、積極的に作業できているか。(関) ・自分の思いを染めに表現できているか。(工) ・綺麗に染め上がっているか。(技)
まとめ 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・染色の結果を発表する。 ・次週の活動内容を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人との違いに気付かせる。 ・次回から、計画をもとに染色布で作品を作ることを伝える。 	

7. 準備物

藍（必要分、事前に茎から刈っておく）、新聞紙、菜箸、鍋、漉し袋（大）（小）、乳鉢、乳棒、ザル、温度計、水を入れて凍らせたペットボトル、エプロン、ゴム手袋、布、ゴミ袋、洗濯バサミ、ワークシート